

海洋鉱物資源開発に向けた資源量評価・生産技術等調査事業委託費

令和2年度概算要求額 93.0億円（87.0億円）

事業の内容

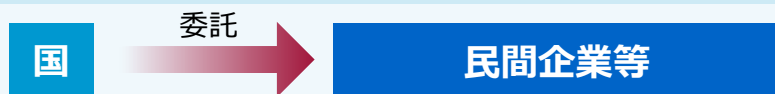
事業目的・概要

- 我が国周辺海域には、海底熱水鉱床、コバルトリッチクラスト、マンガン団塊等といった海洋鉱物資源が存在し、これらには次世代自動車や再エネ機器等に不可欠な銅やレアメタルが含まれています。国内資源に乏しい我が国は、鉱物資源の安定供給確保のため、資源量評価や生産技術の開発に向けた基礎的な研究・調査等を行い、海洋鉱物資源の開発を推進します。
- 海底熱水鉱床は、平成29年度の採鉱・揚鉱試験と平成30年度の総合評価を踏まえて、事業者が参入の判断が出来るレベルの資源量の把握や、抽出された技術課題に対して将来の商業化システムを見据えた課題解決の取組を行います。また、コバルトリッチクラストは、海底熱水鉱床の開発で培った基盤技術も活用して、実海域での採鉱技術の開発に関する試験を行うとともに、資源量の把握を進めます。また、海洋鉱物資源に共通する生産技術の基礎調査を進めます。
- さらに、海洋鉱物資源のうち公海上に有する探査鉱区では、国際海底機構との契約に基づいて資源量調査等を実施します。

成果目標

- 海洋エネルギー・鉱物資源開発計画（平成31年2月、経済産業省）の工程表に沿って開発を進め、海底熱水鉱床については、資源量調査から選鉱・製錬までの一貫したシステムに係る課題解決に取り組み、令和4年度に総合的な評価・検証を実施します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

<海洋鉱物資源>

海底熱水鉱床



コバルトリッチクラスト



マンガン団塊



レアアース泥



<資源量評価>

- 海洋資源調査船を使用し、資源量調査等を行う。



使用船：
海洋資源調査船
（調査に必要な推進機能や複数の機器を搭載）



調査手法：
ROV（遠隔操作無人探査機）による海底観察、試料採取等

<生産技術>

- 海洋鉱物資源について、生産技術の基礎調査を行う。

